



MAGAZINE

記事を探す



TOP > 名優マガジン > 導入事例 >

職場で会話しながら聴覚保護を続けやすくしたクオリネの推奨事例

導入事例

職場で会話しながら聴覚保護を続けやすくしたクオリネの推奨事例

2026.06.21 #クオリネ #騒音性難聴



耳鼻咽喉科クリニックでは、騒音性難聴患者に対し、職場で使い続けやすい聴覚保護具としてクオリネを推奨しています。遮音しすぎず、会話ができる程度に音圧を下げられる点が評価された事例です。



導入先	耳鼻咽喉科クリニックの医師
使用場面	騒音性難聴患者の外来診療時に、職場での使用を推奨
目的	騒音性難聴の予防

1. 事例のご紹介
2. 許容したこと・注意点
3. お客様コメント
4. 使用製品

事例のご紹介

耳鼻咽喉科クリニックでは、騒音性難聴患者の外来診療時に、職場での聴覚保護具の使用を推奨していました。従来の耳栓では遮音性が高すぎ、仕事中の会話がしにくいため、患者が外してしまうことが課題でした。

選定にあたっては、職場で会話ができる程度に音圧を下げられること、長時間の着用に耐えられる装着感があることを重視しました。遮音をしすぎないこと、肌との接触面積が小さいことも判断材料になりました。

クオリネは、平均20dBの音圧低下により、耳を守りながらクリアな音声を維持しやすい点が評価されました。装着したまま仕事を続けやすいため、患者が外さずに使い続けることにつながっています。

許容したこと・注意点

- 耳栓に紐がついていないこと
- 紛失や管理方法は会社・患者側で確認する必要があること

お客様コメント

「従来品では遮音性が高すぎて仕事ができないという理由から、耳栓を外してしまう患者が多かった。クオリネであれば会話ができる程度の遮音なので、装着し続けてくれるようになった。」

使用製品

製品名：クオリネ

採用品番：QUALINE-MB（クオリネ®ブルー）／QUALINE-MG（クオリネ®グリーン）／QUALINE-MP（クオリネ®ピンク）

この事例での役割：職場で会話を維持しながら音圧を下げ、装着継続を支援する聴覚保護具

製品ページ：<https://meilleur.co.jp/product/qualine-earplugs/>

よくある質問

Q なぜ遮音性の高い耳栓ではなくクオリネを推奨したのですか？

A. 遮音しすぎると工作中的の会話が難しくなり、患者が外してしまうためです。

Q この事例で重視されたクオリネの価値は _____
何ですか？



A. 音圧を下げながら会話を維持しやすく、長時間装着を続けやすい点です。

[＜ 前の記事](#)

[次の記事 ＞](#)

[一覧に戻る](#)



[製品カタログ一覧](#)



[お問い合わせ](#)